

山旅人ニューフェイスガイドと登った2019年に登る2019m峰



とっても落ち着いた雰囲気の良いガイド

鳥羽晃一さんが案内してくれました。

先月「花と残雪の大雪山、赤岳から緑岳縦走と大雪高原沼」の添乗をさせて頂きました。2019年という事で標高2019mの緑岳へ。初夏の大雪山系の山々は雪解けと共に高山植物がいっせいに咲き誇り、残雪とのコラボがとても美しい。ピリッと長丁場の赤岳から緑岳の日帰り縦走をメインコースとし、大雪山を満喫してきました。今回案内して下さった鳥羽さん。とても落ち着いた雰囲気の良いガイドさん。ゆっくり歩いてくれて、とても親切。ツアー最終日の朝は朝食が終わるやいなや高原温泉の駐車場に出てひとりですっと望遠鏡をつかってクマ探し。どうしても見せてあげたかったようです。その願いがクマに伝わったのか、なんと雪渓で遊ぶ子熊とそれを見守る親グマを発見。皆さんに望遠鏡で見てもらう事が出来ました。そんな優しい鳥羽さんが案内する来年以降のコースを紹介します。ご希望の方は今すぐ同行の添乗員へお問合せ下さい。

添乗員 堀祐希



今回は高原温泉3泊の贅沢なプランでした



雄大な大雪山系主稜線をバックに

ちょっと気分を変えてみて、新たな試み 山旅人青空ミーティングを開催

山旅人では月に一回、社員全員が集まるミーティングを開催しています。せっかく皆で集まり意見を交換する貴重な時間、狭い事務所で机を挟むより外で話した方がリラックスできていいアイデアが出るのでは？と7月は朝から西宮浜に行ってきました。浜風を受けながらみんなで円になって座り、片手に飲み物を持っているだけでなんだかみんな笑顔（基本山旅人の社員はいつも笑っているような気もしますが）今回のお題は自己紹介。改めて一緒に働いている仲間の事を知ろうという趣旨。一人一人話し出すと「へー、ほー！ええ！？」と驚きと笑いの連続でした。皆語ることが多すぎて大幅に時間をオーバーしながら第一回青空会議が終了。社員同士の意思疎通が上手くいけば必ずいいアイデアが浮かびお客様に喜んでもらえるはず！と信じて8月もどこかの青空の下でミーティング予定です♪

久保世里子



山旅人スタッフ 今月の小話

夏山シーズン真っ只中。皆様、エンジョイされていますか？
私は家族4人でためき村に日帰りドライブを楽しんで来ました。今回訪れるまでは正直「こんなもん、誰が買うんやろうか」と思っていました。いろいろ見ていると「かわいいなあ」と感じる様になり、説明を聞くと「商売繁盛」だの「家内安全」だの、いろいろいわれがあるようで…これは買わねばと子供との絵付けで2体、家に男女（オスメスカ）で2体、さらに会社に1体、さらにさらに兄の家に新築祝いで1体、なんと6体も買いました。売店のお婆ちゃんとっても上機嫌。どれもとっても気に入っています。

皆様も是非ためき村へお出かけ下さい♪

ツアー作りましょうか…？

堀祐希



東京での研修の予定が入り、帰りの飛行機を手配したけど金曜の晩で結構一杯だったので、折角東京行くなれば以前から乗りたかった唯一の定期運行寝台列車「サンライズ出雲」に乗りたいたなあと1ヶ月前の発売日に駅で聞いてみるともうすでに満席(T_T)。数日後、あきらめ切れず再度問い合わせたところ、1席空いてきたとのこと！ラッキー♪大阪へ帰るための切符が出雲市行きになったので、じゃあと翌日の出雲市～鳥取間を走る観光列車「あめつち」の切符もゲット！この列車は宍道湖や日本海の景色を楽しみながら、注文しておけば日本酒付のお弁当が楽しめます。鳥取で1泊して翌日は若桜鉄道の月2回だけのSL展示運転の日ということもわかり、これもラッキー♪ということで、東京からの帰り道が東京～出雲市～鳥取～若桜～大阪2泊3日のおっさん鉄道ひとり旅となりましたとさ。三木浩嗣



休日まさかのアイドル握手会？

先月、娘が友達と“日向坂48”(ひなたざか48)という女性アイドルグループの握手会に行く予定でしたが、友達の都合が悪くなり、なんと私が一緒に行く事になりました。ちょうど添乗予定も入っていなかったの娘と二人で一緒に行けるならどこへでも♪と喜んで行ってきました。どんなグループかも分からないまま娘に連れられて京都へ。早めに会場に着くとすでに大行列！女性アイドルなので学生とおぼしき若い男性だらけ！その子達は目立つために自分の名札をつけたり、生写真を買って首からぶら下げたり、着ぐるみを着たり…暑いのに大変やな～と思いながら私も娘と行列へ。娘と色々話をしていると2時間もあっという間。そしていよいよ握手の順番。名前も分からないけどちょっとドキドキしました。握手の時、何か一言お話が出来そうで、私は笑顔で「娘と来ました！」と言うと同じく笑顔で「いいですね！」とお返事。若干緊張していたのでアイドルの顔もよく見ないまま足早にその場を去りました。かわいいアイドルより、娘と一緒に時間を過ごせた事が幸せな一日でした。

私は娘がアイドル 岡本哲也

北海道は花盛り

今年もベストシーズンの北海道へ添乗に来ています。現地の様子は残雪が多く例年より少し遅めの雪解けの様です。雄大な山と雪渓、雪が消えた場所に満開に咲き誇る高山植物、ダイナミックな景色には毎年感動させられます。5月～7月中旬は、とてもいい時期ですので登山者が多く、各所の混雑は避けられませんが、ベテランガイドの小林さんはじめ、現地の人気ガイドさん方と協力して企画を練り、存分にツアーを楽しんでいただけるよう頑張っています。山が好き、花が好きな方でしたらきっとご満足いただけると思います。まだ北海道の山に足を踏み入れたことが無い方も来年こそはこの大自然を山旅人のツアーで満喫しに出かけませんか。

津森豊

下：北海道花の山にて
洞爺湖と羊蹄山を望む



上：十勝大雪にて
旭岳をバックにチング
ルマのお花畑を楽しむ



山旅人スタッフ 今月の小話

去年の今頃はハイシーズンの添乗に出ながら娘の誕生を今か今かと待ち望んでいた時期でした。あれから早くも一年が経ち、娘も9日で満1歳になります。未だに鮮明に覚えている娘の誕生が昨日のこのように感じます。お陰様で娘はスクスク育ち、言葉はまだ喋れないもののこちらの言っていることは理解し始め、ハイハイを卒業して歩き始めるようになりました。子供の成長の速さに日々驚きながらそろそろ靴を買いに行こうかと、嫁と色々な意見の対立を繰り返しながら（笑）初めて娘の足に合う一足を購入しました。まだ靴を履いて上手く歩けませんが、いつかこの靴を履いた娘と一緒に散歩することを夢見て、室内で歩く練習をするのが休日の日課になっています。ちなみにヨーロッパのどこかの国ではファーストシューズは大切に残しておき親元を離れる時に渡す習慣があるそうです。

まだまだ先に感じる親離れの時を思うと寂しくなりますが、大事にこのファーストシューズを残しておこうと思います。



浮田健一

やっと梅雨が明けて待ちに待った夏山登山シーズン突入です！皆さんいかがお過ごしでしょうか？

今年は冷夏と言われたり梅雨入りが遅かったりと例年とは少し様子が違うように感じます。7月に北岳ツアーに添乗で行ったときも、例年と違う気候の影響か咲いているはずの花がまだ咲かず、花の開花シーズンも遅れていました。幸いにもキンボウゲやキンバイなどは、まるで絨毯の様に咲いていて見応えがありました。素晴らしい風景でしたがそれでも通年より少ないそうです。綺麗なお花を皆さんと楽しみたいと思いながら、今丁度白山に向かってバスの中です。白山は北岳と同様に花の宝庫と言われている山です。現地の方に聞くとどうやらお花はバッチリ見頃。たくさんのお花が楽しめそうだなと胸を踊らせながらバスの車窓から見える田園風景を眺めています。

横田和則



子供の毎日の宿題に音読があります。今回は平家物語。久しぶりに聞く「祇園精舎」はとても綺麗な言葉で美しい日本語でした。思えば古典の始まりの文は素敵なものが多い気がします。改めて声に出して読み、意味を理解すると、また一から古典に触れるのもいいものだなあと感じたので皆さんにご紹介させていただきますね。（いまさらですか？笑）

祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり

娑羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらはす

おごれる人も久しからず 唯春の夜の夢のごとし

猛き者も遂にはほろびぬ ひとえに風の前の塵に同じ

祇園精舎の鐘の音には、全てのものは移り変わっていくものだという真理を響きの中にこめています。娑羅双樹の花の色は、今は勢いのある人でも必ず衰える真理を表しています。奢り高ぶっている人でもずっとそのままでいることはできません。ちょうど短くて儂い春の夜のようなものです。勇ましくて強いものも最後には滅んでしまいます。

皆さんも好きな古典がありますか？もしあればまたぜひ教えてくださいね。

久保世里子

昨年の9月、蝶ヶ岳のツアーにサブ添乗員として行ってきました。2日目、朝から晴天！横尾山荘から登ります。槍見台では手前に横たわる横尾尾根の向こうに槍の穂先を確認し、稜線に到着すると槍穂の峰々が圧倒的な迫力で眼前に広がります。左手から乗鞍・焼岳・穂高連峰、槍から延びる東釜尾根、その向こう側に北鎌尾根も少し見えました。武村ガイドのゆったりした案内で途中休憩をはさんで稜線まで4時間半なので、お昼前には3000mの稜線です。天候に恵まれ、蝶ヶ岳でゆっくり眺め、蝶ヶ岳の頂上でもものんびり1時間以上過ごしました。今まで登ってきた山をゆっくり眺め、「昔、5月の涸沢で酔っぱらってたなあ…」とか、「子供と西穂に登ったなあ…」とか、昔を思い出しながら、山を眺める山行もとても楽しかったです。今年も蝶ヶ岳のツアーあります。初めての方も登ったことがある方もぜひ行きませんか？

近藤恒毅



●お客様の旅コラムを随時募集中

かわら版に掲載させて頂くお客様の旅コラムを募集しております。旅のエピソードをはじめ、山旅人のツアーで感じた事ならなんでも結構です。400文字以内で下記メールアドレス又はお手紙・FAXでご応募下さい。

※お写真の掲載も可能です。※編集の都合により文章を省略させて頂く場合もございますがご了承下さい。※採用は掲載をもって発表とさせていただきます。

●「お客様の声」をお聞かせ下さい

ホームページに「お客様の声」を掲載させて頂いております。山旅人にご参加頂いて楽しかった事や嬉しかった事を簡単な文章にまとめ、お写真と一緒にホームページの応募フォームかEメールでお送り下さい。掲載させて頂いた方には1000円の割引券を贈呈致します。

●ご希望の方へ「日本百名山登頂カード」と「九州百名山登頂カード」を差し上げます。

まずは百名山登頂アンケートで（添乗員にご請求下さい）これまで登った百名山についてお答え下さい。登頂された山にハンコを押したカードを後日、当社からご自宅へお送りします。

日本百名山を含むツアーへご参加の際お持ち下さい。添乗員が登頂した山にハンコを押します。

個人山行、他社ツアーでの登頂も自己申告をして頂ければハンコを押します。

※ハンコを押すのは当社ツアー参加中に限ります。（当社事務所を含むツアー以外の場所では押せませんのでご了承下さい）

※百座すべてを登頂された方には当社より素敵なプレゼントを進呈させていただきます。

※すでに百名山をすべて登頂されたという方も希望であればカードをお渡しします。（もちろんプレゼントも差し上げます！）

※その他、ご不明な点はお気軽に添乗員まで・・・

●山旅人ポイントカードはお名前をご記入の上、ツアーにご参加頂いた際、添乗員へお渡し下さい。

本日お渡ししたポイントカードはご参加頂いた際、添乗員がそのツアー日数分（例：日帰り1個、1泊2日2個）のハンコを押させて頂きます。6個貯まると次回以降のツアーで1000円をキャッシュバックします。

※利用はご本人のみ、キャッシュバックは1ツアー1枚限りとなります。

但しツアー日数が7日以上は2枚利用可、13日以上は3枚利用可、19日以上は4枚利用可となります。（2018年3月より）

※夜行フェリーは往復で1個となります。（片夜行の場合はポイント加算無し）

※個人プラン、買取企画等のパンフレット未掲載ツアーはポイント、キャッシュバックの対象となりません。

●山旅人メール会員登録で本日ポイント2つ追加 登録専用アドレス touroku@yamatabito.com

携帯電話・パソコン どちらでもOK！メール会員に登録するだけでポイントカードのハンコを2つサービス！登録は下記の登録専用アドレスへメールを送るだけ。もし面倒なら登録は添乗員が代行します。（携帯電話持参の方）情報送信は月に数回、催行状況や新規募集ツアーの情報をお知らせします。こんな時にメールが届きます・・・「パンフレット未掲載の新企画募集を開始した時」「山旅人のツアー催行状況を更新した時」

「満席のツアーに空席が出た時」…等々

※必ず件名に「メール会員登録」本文に登録者の氏名を入力してから送信してください。

※年会費や入会金不要 解約はEメール・FAX・お電話でいつでも受け賜ります。

※お預かりしたアドレスは厳重に管理し、山旅人の旅行情報関係以外のメールは送信致しません。



●当社では添乗員スタッフの撮影したビデオ販売や写真の無料ダウンロードサービスがあります。

山旅人のツアーでは、スタッフがビデオ・写真の撮影をします。撮影したビデオ・写真をご希望の方は120分DVD1本1000円（写真はCD500円・プリント7枚500円）各送料込で販売致します。120分に収まれば何コースでも1000円です。いくつかのコースをためてから注文して頂いても結構ですし、気に入ったビデオ1コースだけを注文して頂いても結構です。ご注文・お支払いは添乗員まで。後日ご自宅へお送り致します。

さらにパソコンやスマートフォンで当社ブログページから添乗員の撮影した画像データを無料でダウンロードする事も出来ます。詳しくは添乗員までお問合せ下さい。

※例え5分のみビデオを1本で注文されても1000円となります。※すべてのコースでビデオ撮影サービスをご提供するとは限りません。悪天候時やトラブル発生時、危険箇所が多い行程等、当社スタッフの判断でことわりなくビデオ撮影を中断・又は中止する場合もあります。その他、ビデオカメラの故障や機材不足の場合でも撮影は行いません。

●山旅人の募集スケジュール 春夏号(5月～9月)は1月発送 秋春号(10月～4月)は7月発送です。

1月発送 夏秋号…5月～9月出発の新ツアーと10月～11月出発の先行発表ツアーを掲載

7月発送 秋春号…10月～11月出発の追加設定ツアーと12月～翌年4月出発の新ツアーを掲載

次号のパンフレットは秋春号です。2019年7月発送予定

決定したコースを順次お知らせ致しますので、お気に入りの企画には先行予約をお入れ下さい。